



かながらひきま  
へいへきま

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 新しい工事に着手する。
- 2 休み時間は屋外で遊ぶ。
- 3 会長の仕事を委ねる。
- 4 都合をつけて出かける。
- 5 病院で投薬される。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 こん虫がうかがする様子を見る。
- 2 わく内に数字をきにゆうする。
- 3 鳥のけんきゆうをする。
- 4 雨にぬれたろめんが黒く光る。
- 5 ふえをふく少年の絵がある。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「着」は「着席」と同じ読みだよ。
- 2 「屋」は「屋上」と同じ読みだよ。
- 3 「委」は「○だ」(ねる)と読むよ。
- 4 「都」は「と」と読んではいけないよ。
- 5 「投」は「投手」と同じ読みだよ。
- 二 1 「うか」とは「昆虫が成虫になって、□が生えること」だよ。
- 2 「きこう」の「き」と「にゆうがく」の「にゆう」の組み合わせだよ。
- 3 「けん」の部首は「いしくん」、「きゆう」の部首は「あなかんむり」だよ。
- 4 「ろめん」とは「どうろ」の「ひょうめん」のことだよ。
- 5 「たけかんむり」と「りゆう」の「ゆう」の組み合わせだよ。



名前をいしよまほ  
(いしよ) を書きまほ。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 作物の生長は、天気に左右される。
- 2 走行時間を調べる。
- 3 食品の売買をする。
- 4 駅から学校までの時間を計る。
- 5 人事をつくして天命を待つ。

1	
2	
3	
4	
5	

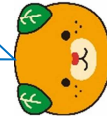
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 やくしやになるという夢をもつ。
- 2 相手にまさる強い気持ちがある。
- 3 したしい人に相談する。
- 4 紙のちゆうおうに円を書く。
- 5 力を合わせて大きな石をはくる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「左」は「左折」と同じ読み、「右」は「〇う」と読むよ。
- 2 「走」は「走者」や「助走」と、「行」は「行進」と同じ読みだよ。
- 3 「うりかい」ではないよ。「売」も「買」も同じ読みだよ。
- 4 「図る」や「測る」と同じ読みだよ。
- 5 「天」は「天気」と、「命」は「命令」と同じ読みだよ。
- 二 1 いろいろな「やく」をえんじる「もの」のことだよ。
- 2 気持ちの強さで相手に「か(つ)」んだね。
- 3 「おや」こそ「したしい」人かも。
- 4 「ちゆうおう」は、まんなかのことだよ。
- 5 「うんどう」の「うん」の訓読みだよ。



分かんないまま  
はたして書ける。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 小さな国の君主になる。
- 2 先生に教わったことを書く。
- 3 名目だけの役割。
- 4 めずらしい雲海を目にする。
- 5 顔色をうかがう。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 他の国のげんごを学ぶ。
- 2 給食とうぼんになる。
- 3 見えるのはひょうごんの一角だ。
- 4 ちがう学級の人とこうりゆうする。
- 5 ひとしく分ける。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「君」、「主」とともに音読みで読もう。 2 「おしえる」ではなくて「お○わる」だよ。  
 3 「目」を「め」と読んではだめだよ。  
 4 「くも」、「うみ」ではなくて、どちらも音読みをしてみよう。  
 5 どちらも、そのまま訓読みで読むといいよ。
- 二 1 「げん」も「ご」も言葉に関係している漢字だね。  
 2 「じゅんぼん」にその役目が「あたる」んだね。  
 3 「ひょうごん」は「こおり」の「やま」のことだよ。「こおり」は「水」が固まったものだから、漢字が似ているよ。  
 4 「こう」の訓読みは「まじる」、「りゆう」は「ながれる」ことだよ。  
 5 「ひとしく」分けると「ひょうどう」になるね。



名前をいしよま  
へんと書えよ。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 みこしが大通りを練り歩く。
- 2 多才な人をしようかいする番組。
- 3 空調機能に優れている。
- 4 おもしろい文庫本を手に入れた。
- 5 朝礼で話をする。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 じどうでふたが開く。
- 2 急にしつないの温度が上がる。
- 3 遊びに行けないうちをたずねる。
- 4 私は友人へのじよりよくをおしまない。
- 5 来週のよていを立てる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 ねんどうを「練る」、案を「練る」と同じ読みだよ。
- 2 「多」を音読みしよう。「おおい」は訓読みだよ。
- 3 「型気」、「調整」と同じ読みだよ。 4 「学級文庫」の「文庫」だよ。
- 5 「あさ」だと訓読み、「○よ○」だと音読み。人に会ったら「礼」をします。
- 二 1 「しせん」に「うご」いてふたが開くんだね。
- 2 「きようしつ」の「しつ」と同じ漢字だよ。「ない」の漢字は「うち」とも読めるよ。
- 3 「りか」の「り」と「じゆう」の「ゆう」の組み合わせだよ。
- 4 「たすけたい」という思いが「ちから」になって出るんだね。
- 5 「よしゆう」や「みやく」の「よ」、「けつてい」や「あんてい」の「てい」を書きよ。



必ずおぼえて  
(ヒント) 真直して。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 『はやぶさ』打ち上げの秒読み段階に入る。
- 2 転んできずを負う。
- 3 作者の意図を考える。
- 4 漢字の画数を数える。
- 5 休みを返上する。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 各自が自由にさらに取って食べる。
- 2 しょうそくがとどえる。
- 3 列をとどのえて歩く。
- 4 道ばたに落ちているゴミをひらう。
- 5 まいとし実がなる。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「秒」は「三秒ルール」と同じ読みだよ。
- 2 「荷物を背負う」にも「負う」が使われているよ。
- 3 「図」は「ず」と読んではいけないよ。
- 4 「画」は「一画目、二画目」と使うよ。
- 5 「返」は「返事」や「返品」と同じ読みだよ。
- 二 1 「血」と似ているよ。
- 2 「しょう」は「きえる」、「そく」は「いき」と同じ漢字だよ。
- 3 「せいれつ」の「せい」と同じ漢字だよ。
- 4 「捨」と書いたら「すてる」になるから注意。
- 5 「まい」は「まいにち」の「まい」と同じだから、「母」と書かないように。



正しく覚えようね！

分からないときは  
(ヒント) を見よう。

第 学年 組 番 名前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましよう。

- 1 童心に返って遊ぶ。
- 2 命令に反発する。
- 3 答えが全く分からない。
- 4 有名な詩集を買う。
- 5 しばらく雨宿りをする。

1	
2	
3	
4	
5	

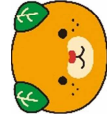
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 ちまこになつてさがす。
- 2 わらう門にはふく来る。
- 3 何事にも一長いつたんがある。
- 4 のうぎように力を入れる。
- 5 ようもうが原料になっている。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「童話」の「童」と同じ読みだよ。
- 2 「発」は「はつ」とは少しちがう音だよ。「出發」も同じだよ。
- 3 「全然」という言葉を「〇つたく」と言いかえることもあるよ。
- 4 「詩」を「集め」たものが「詩集」だよ。
- 5 「雨」は「あ〇」と音を変えるよ。「雨がっぱ」も同じ読みだよ。
- 二 1 「皿」とまちがわないように。
- 2 「ころふく」の「ふく」だよ。
- 3 「たん」は「長」と反対の意味の漢字を書くよ。「長所」と「たん所」とも言うよ。
- 4 「ぎよう」は「きぎよう」や「じゆぎよう」の「ぎよう」と同じだよ。
- 5 「ようもう」とは、「ひつじ」の「け」のことだよ。



がんばって  
い  
ね!

かなひら  
まを  
まを  
まを

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 なわとびの練習をする。
- 2 新緑が目に入る。
- 3 気に入った洋服を着る。
- 4 終始笑顔で会話をする。
- 5 代打で出場する。

1	
2	
3	
4	
5	

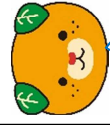
二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましよう。

- 1 南極大陸にあるしょうわ基地。
- 2 きんじよに広い公園がある。
- 3 急なさかみちを上る。
- 4 しかいに治りようしてもららう。
- 5 ペンをふでばこにしまらう。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 教科書や問題集には、「練習問題」があるよ。
- 2 「緑」は「みどり」と読まずに、音読みで「〇よ〇」と読むよ。
- 3 着る物を売っている所を「洋服売り場」と表すよ。
- 4 「一日中」のことを「終日」と言うよ。
- 5 「交代」は「こうたい」だけど、「代打」は「たい」とは少しちがうよ。
- 二 1 「しょう」は、「照」とにている漢字で、「わ」は「くいわ」の「わ」だよ。
- 2 「ちかいところ」だよ。それぞれの字を音読みしているよ。
- 3 「さか」は「つちくん」だよ。
- 4 「しかい」は「は」を治すいしやだよ。
- 5 「ふで」は「えんぴつ」の「ひつ」と同じ漢字だよ。「はこ」という漢字は、「たけ」「き」「め」の組み合わせだよ。



かなひきま  
ひょうをきま。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

1 食<sup>く</sup>放<sup>は</sup>題<sup>だ</sup>の店に行く。

2 船が三か月ぶりに帰<sup>か</sup>港<sup>こう</sup>する。

3 とうふを二<sup>に</sup>丁<sup>ぢょう</sup>買<sup>か</sup>う。

4 漢字の部<sup>ぶ</sup>首<sup>しゅ</sup>を辞<sup>じ</sup>書<sup>しょ</sup>で調<sup>てい</sup>べ<sup>べ</sup>る。

5 川の流<sup>なが</sup>れが速<sup>はや</sup>い。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

1 すいぞく<sup>すいぞく</sup>か<sup>か</sup>ん<sup>かん</sup>に行く。

2 川のむこう<sup>むこう</sup>側<sup>がわ</sup>に家がある。

3 いんしゆ<sup>いんしゆ</sup>運<sup>うん</sup>転<sup>てん</sup>を取<sup>と</sup>りし<sup>し</sup>ま<sup>ま</sup>る。

4 銀行のつう<sup>つう</sup>ち<sup>ち</sup>よう<sup>よう</sup>を持<sup>も</sup>っ<sup>つ</sup>て<sup>て</sup>い<sup>い</sup>る。

5 自<sup>じ</sup>転<sup>てん</sup>車<sup>しゃ</sup>に<sup>に</sup>の<sup>の</sup>る。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

一 1 「放」は「ほお」ではないから気をつけてね。

2 「帰」、「港」ともに音読みをするよ。

3 住所で使われる「一丁目」「二丁目」と同じ読みだよ。

4 「音」は「くび」ではないよ。短歌を教えるときに、「一音」「二音」と使うよ。

5 「早い」も同じ読みだよ。

二 1 「かぞく」の「ぞく」、「としよかん」の「かん」を使うよ。

2 「右をむく」という場合に使う漢字だよ。

3 「いんしゆ」とは、「さけ」を「のむ」ことだよ。

4 「つう」は「つうしる」という漢字だよ。「ちよう」は、「巾」に「長」という字を組み合わせてできるよ。

5 漢字を書くときに、三つの横画の長さに気をつけよう。





どんどん進んで  
ね！

かなひらきまは  
へんをきまは。

第 学 年 組 番 名 前

一 次の1から5までの文の——部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

1 わが市には寺社が多い。

2 黄金にかがやく。

3 根気よく本を読む。

4 ちょうど死角になる場所がある。

5 外国で見聞を広げたい。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の1から5までの文の——部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

1 新たな地区にしんしゅつする。

2 前を走っている人をおいかける。

3 なみまにただよう小舟がこぶね見える。

4 三のばいすうを答える。

5 ていねいな字でノートにうつす。

1	
2	
3	
4	
5	

<ヒント>

- 一 1 「寺」は「てら」と読まないよ。
- 2 この場合は「こがね」ではないよ。
- 3 ずっと続けられることを「根気がある」と言うよ。
- 4 「死」は「必死」と同じ読みだよ。「角」は「かど」とは読まないよ。
- 5 「見聞は一見にしかず」ということわざと同じ読みが使われているよ。
- 二 1 「すすん」で「で」ていくことだよ。
- 2 「ついか」、「ついはら」の「つい」と同じ漢字だよ。
- 3 「なみ」の「あいだ」のことを「なみま」と言うよ。
- 4 「ばい」は「にんべん」だよ。
- 5 「移す」、「映す」とまちがえないようにね。



かなをひらかなで  
いねいに書こう。

第 学年 組 番 名前

一 次の 1 から 5 までの文の — 部の漢字の正しい読みを、ひらがなでいねいに書きましょう。

- 1 細かい分<sup>たん</sup>担を決めておく。
- 2 一年前に上京した友<sup>だち</sup>達と会う。
- 3 深海の生物のなぞを<sup>さぐ</sup>る。
- 4 先生に暑中見<sup>ま</sup>まいのはがきを送る。
- 5 世界の広さを<sup>し</sup>る。

1	
2	
3	
4	
5	

二 次の 1 から 5 までの文の — 部のひらがなを、漢字でいねいに書きましょう。

- 1 あんごうを<sup>かい</sup>解読する。
- 2 さいじつに兄と出かける。
- 3 こうそく道路を車で走る。
- 4 姉のはつそら力にはおどろかされる。
- 5 家で二時間<sup>べん</sup>ぎょうする。

1	
2	
3	
4	
5	

〈ヒント〉

- 一 1 送りがなが「かい」だから、「ほそい」ではないよ。
- 2 「上」は「うえ」ではないよ。 3 「深」も「海」も音読みだよ。
- 4 夏の終わりや秋の初めになってもまだ暑いことを「残暑」と言うよ。
- 5 「世」は「よ」や「せい」ではない読み方をするよ。
- 二 1 「あん」は「明」と反対の漢字だよ。「ごう」は「きごう」と同じだよ。
- 2 「さい」は「まつり」という漢字を書くよ。
- 3 「こうそく」の反対は「低そく」だよ。「そく」は「はやさ」のことだよ。
- 4 「はつ」は「はつ秦」「はつ見」と同じだよ。「そら」は「感そら」と同じだよ。
- 5 「べん」の漢字には「力」が使われているよ。